

令和 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	交通安全施設整備事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 10 目	事業番号	300	所属長名	宮崎栄司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	木村隆司	
法令根拠等	伊予市交通安全の保持に関する条例、道路法42条				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	市民の安全・安心の確保のため、交通安全施設の整備・充実を図る。						
事業の対象	一般市民			事業の目的	市の管理する道路における交通環境の改善、交通事故の防止、交通の円滑化		
事業の内容 (整備内容)	市道防護柵等の設置・市道反射鏡の修繕、設置			昨年度の課題に対する具体的な改善策	カーブミラー等交通安全施設の設置要望について、現地調査を実施するとともに、交通安全協会の意見も踏まえて、優先順位の高い箇所から整備を行なった。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	4,631	4,012	0	0	0	3,874	カーブミラー設置、修繕	箇所	23	20	5	19
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	市道防護柵等設置工事	箇所	10	6	5	7
一般財源	4,631	4,012	0	0	0	3,874						
職員の人工(にんく)数	0.10	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	5,412	4,796				4,658						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					4,023	4,023	4,023	4,023	4,023	20,115		
成果指標	指標	交通安全施設設置箇所数(修繕含む)	単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度		
			箇所		目標	26	26	26	26			
	指標設定の考え方	安全な交通網の構築という観点から、交通安全施設の設置・修繕箇所数を成果指標とする。			実績	33	26					
	指標で表せない効果	カーブミラーやガードレール等交通安全施設の整備により交通に与える影響については、定量的な指標では量れない。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		設置、修繕に関しては、補助要綱に基づき適切な実施が来ている。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	S	事業成果・工夫した点	新規対応分については、道路反射鏡管理シールを作成するなど適切な管理に努めた。また、地域からの新たな設置要望等についても、実際に現地確認のうえ、交通安全協会各支部と連携を密にし、適切に対応できた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が	S	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 道路交通における市民の安全を確保するうえで不可欠な事業であるとともに、市民からの整備要望も多い。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1							
所属長の課題認識									カーブミラーについて、経年劣化により支柱等の腐食が進行し、倒壊のおそれのあるものが見受けられる。一方で、台帳等の整備がなされていないため、設置場所やカーブミラーの状況把握がなされていない。今後は、現地調査のうえ台帳を作成し、更新や修繕等適切な維持管理に努める必要がある。		

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 道路反射鏡の適切な管理を行うため、管理台帳の作成に向け関係団体との調整を進めること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	